

平成29年6月13日 公告

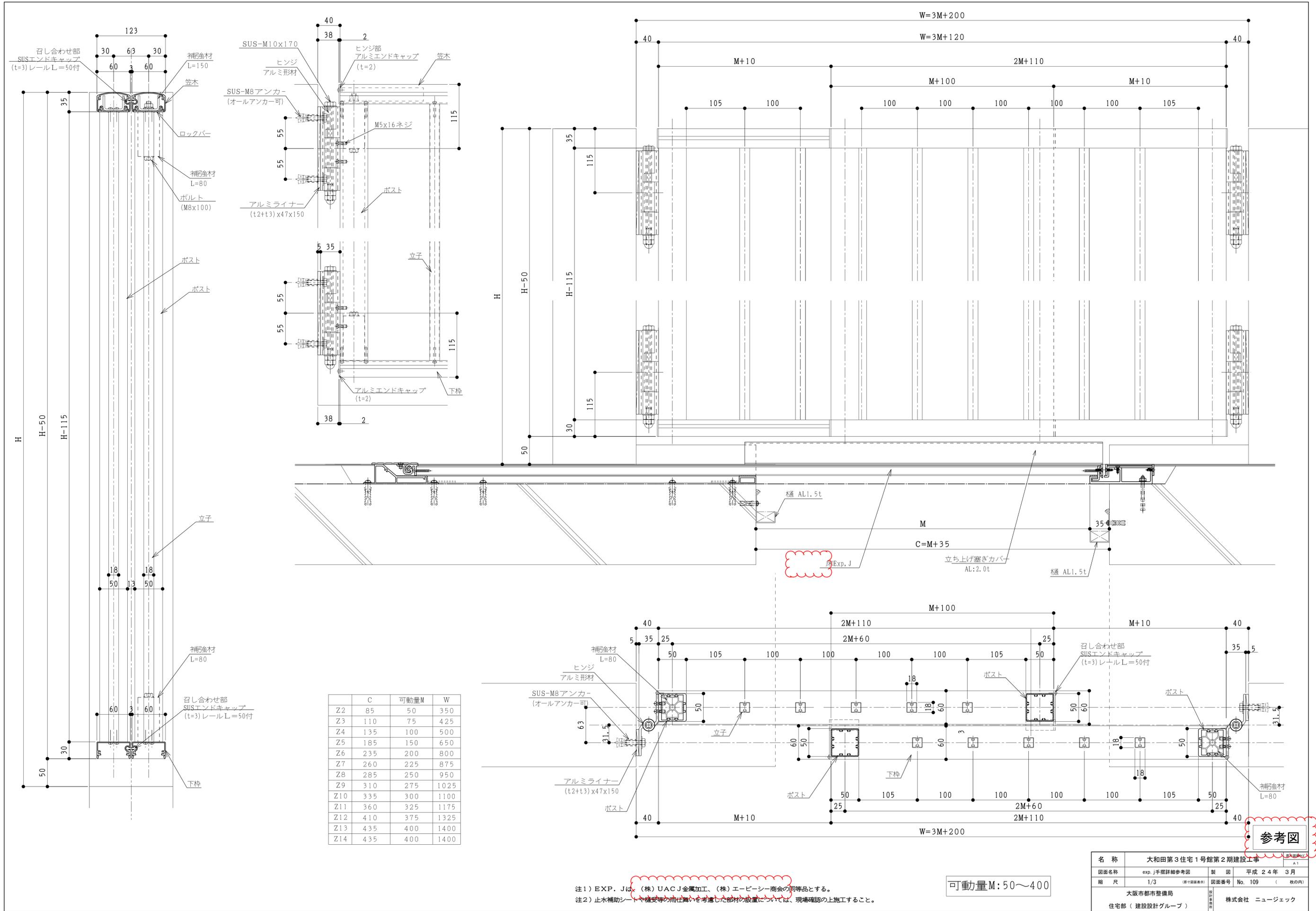
「大和田第3住宅1号館第2期建設工事」

○設計図書等の一部に表記誤りがありました。再度ご確認ください。

修正箇所	誤	正
図面番号 No.108 図面名称：exp.j参考図 可動量等の誤記及び「参考図」追記	可動量、製品名、メーカー名	図面のとおり
図面番号 No.109 図面名称：exp.j手摺詳細参考図 メーカー名削除及び「参考図」追記	製品名、メーカー名	図面のとおり
図面番号 No.220 図面名称：柱梁芯伏図 X通りの寸法誤記	X通りの寸法	図面のとおり
図面番号 No.232 図面名称：1階スリーブ図 X通りの寸法誤記	X通りの寸法	図面のとおり
図面番号 No.310 図面名称：屋外一般附帯詳細図（2） 一般会所の寸法誤記	一般会所の寸法	図面のとおり
図面番号 No.312 図面名称：屋外一般附帯詳細図（4） 集水枡の型種の誤記及び集水枡等の寸法誤記	集水枡の型種及び集水枡等の寸法	図面のとおり
図面番号 No.317 図面名称：屋外一般附帯詳細図（9） 公道付歩道段差切下げの寸法誤記	公道付歩道段差切下げの寸法	図面のとおり

修正箇所	誤	正
図面番号 No. 318 図面名称：屋外一般附帯詳細図（10） 公道付歩道改築の寸法誤記	公道付歩道改築の寸法	図面のとおり
図面番号 No. 320 図面名称：屋外一般附帯詳細図（12） 寸歩誤記（全箇所）	寸法（全箇所）	図面のとおり
図面番号 No. 325 図面名称：屋外一般附帯詳細図（17） 車止め（H）の寸法誤記	車止め（H）の寸法	図面のとおり
図面番号 No. 412 図面名称：集会所 断面リスト 基礎リストの寸法誤記	基礎リストの寸法	図面のとおり
図面番号 No. 413 図面名称：集会所 架構配筋詳細図・雑詳細図 寸歩誤記（全箇所）	寸法（全箇所）	図面のとおり
図面番号 No. 702 図面名称：土壌汚染対策範囲 断面図（1） ケーシング径及び長さの修正	ケーシング径及び長さ	図面のとおり
図面番号 No. 703 図面名称：土壌汚染対策範囲 断面図（2） ケーシング径及び長さの修正	ケーシング径及び長さ	図面のとおり
図面番号 No. 704 図面名称：土壌汚染対策範囲 断面図（3） ケーシング径及び長さの修正	ケーシング径及び長さ	図面のとおり



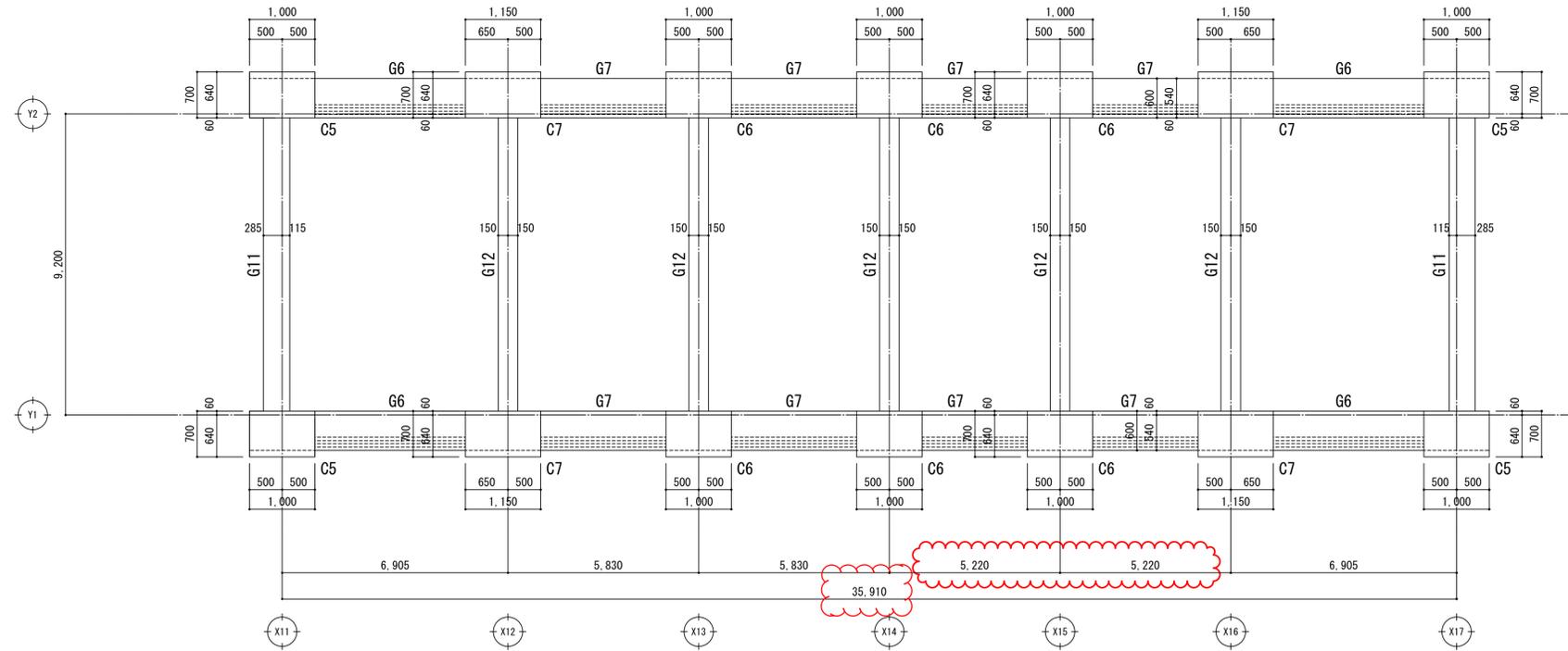


注1) EXP. Jは、(株)UACJ金属加工、(株)エーピーシー商会の同等品とする。  
 注2) 止水補助シートや複層ガラスの取付けを考慮した部材の設置については、現場確認の上施工すること。

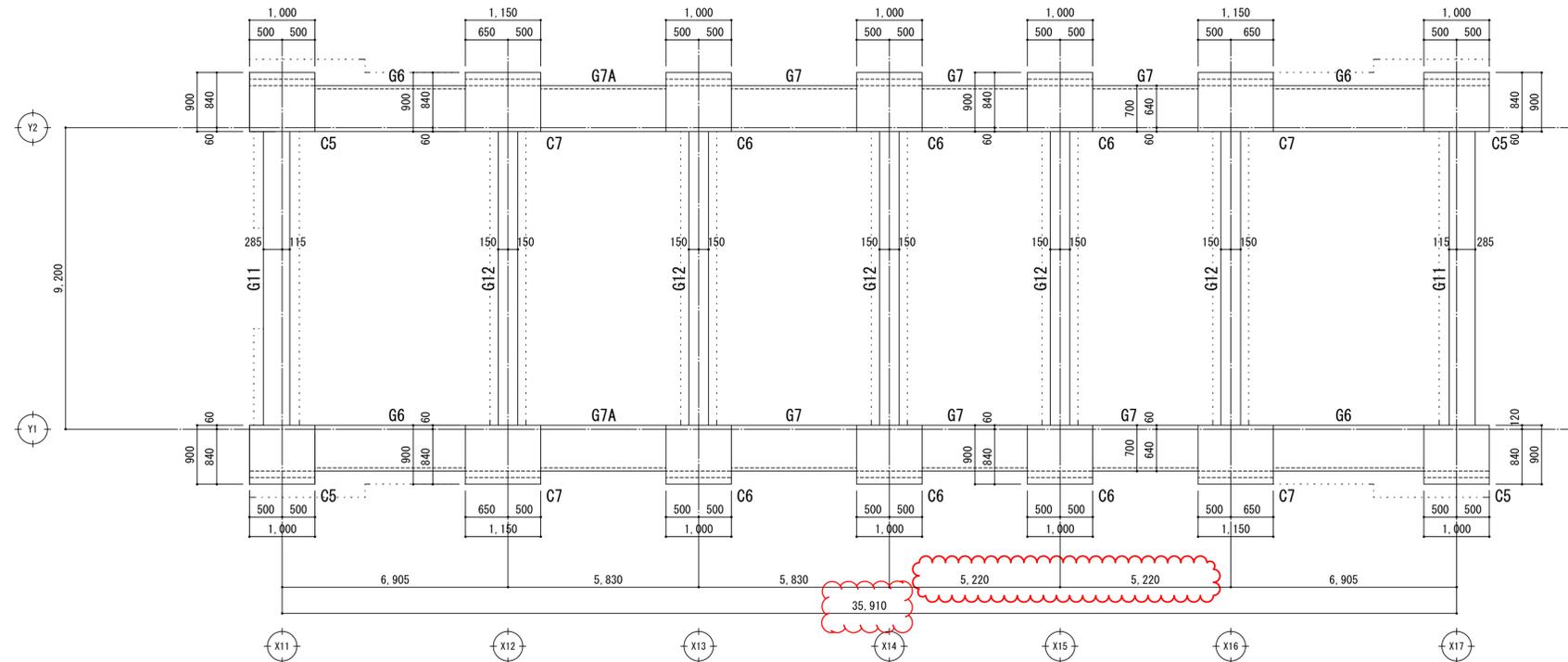
可動量M:50~400

名称	大和田第3住宅1号館第2期建設工事		
図面名称	exp.J手摺詳細参考図	製図	平成24年3月
縮尺	1/3 (原寸図面表示)	図面番号	No. 109 (枚の内)
大阪市都市整備局 住宅部(建設設計グループ)		設計者	株式会社 ニュージェック

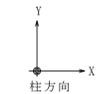
参考図



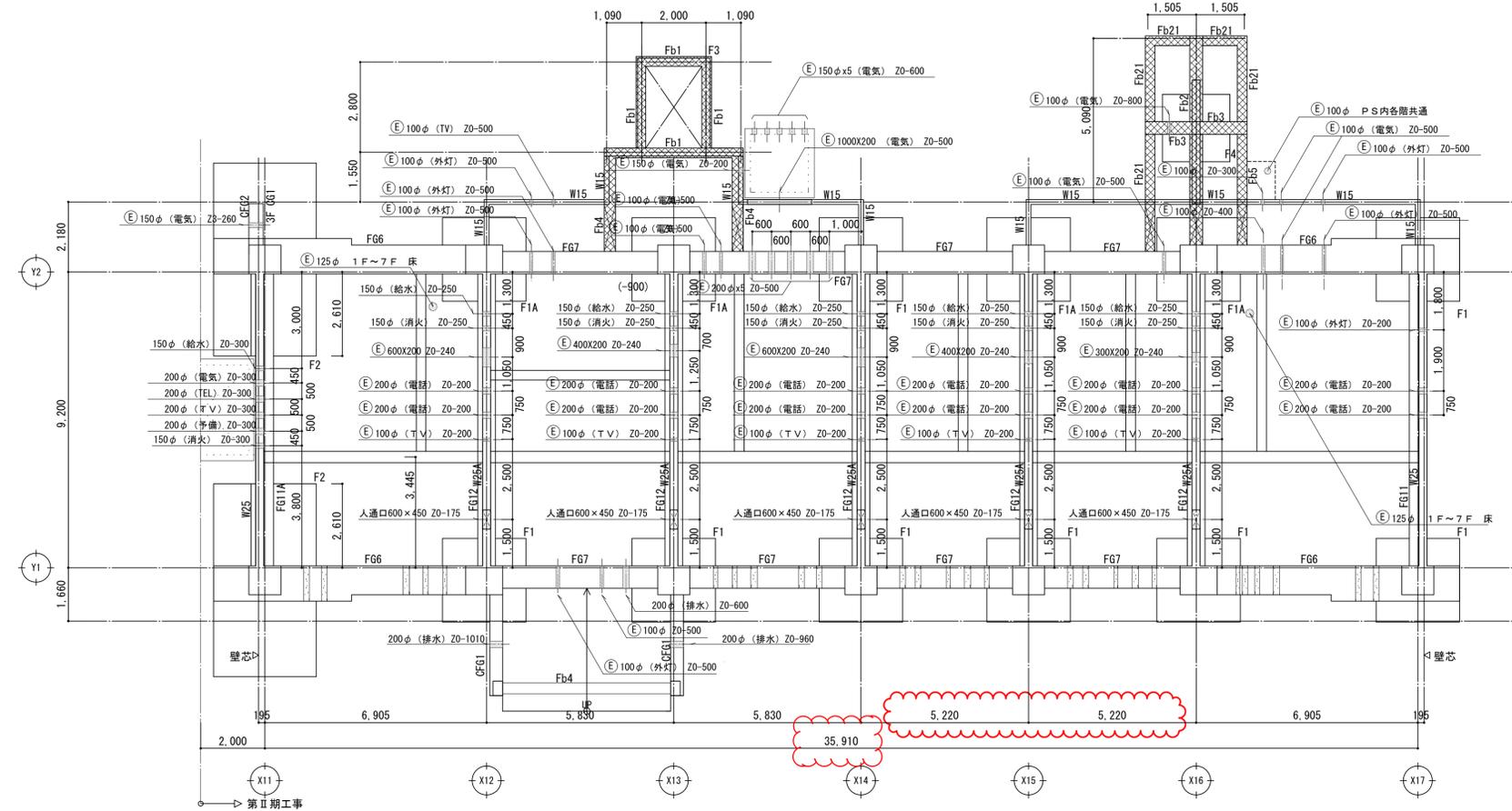
9階柱10階梁芯伏図 1/50,100  
 註) 破線は上階柱、梁断面を示す。



1階柱2階梁芯伏図 1/50,100  
 註) 破線は上階柱、梁断面を示す。  
 点線は地中梁断面を示す。



名称	大和田第3住宅1号館第2期建設工事		原寸図表示
図面名称	柱梁芯伏図	製図	平成24年3月
縮尺	1/50,100 (原寸図表示)	図面番号	No. 220 (枚の内)
大阪市都市整備局 住宅部 (建設設計担当)		設計 監理	株式会社 ニュージェック



1階スリーブ図 1/100  
(一部1-7F床及び3F梁を示す)

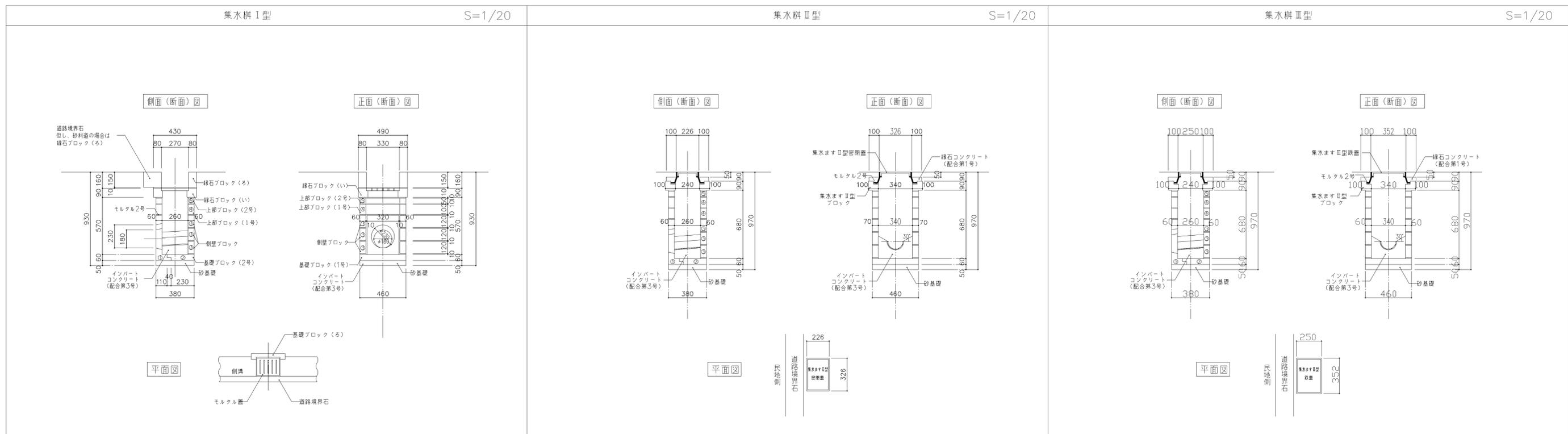
註) 特記なき限り下記による。  
 基礎梁天端は、Z0±0とし、張間方向天端はZ0-400とする。  
 部は、基礎梁天端Z0-550の範囲を示す。  
 小梁天端は、Z0+250(玄関部+220)  
 部は、地中梁上部の通路部分を示す。  
 貫通補強は、212\_梁貫通補強要領図によるが、要領図に表記のないものはA\_スタラップ組数1とする。

住居部のスリーブについては  
建築詳細図参照 表示

名称	大和田第3住宅1号館第2期建設工事			原寸図表示
図面名称	1階スリーブ図	製図	平成24年3月	※
縮尺	1/100 (原寸図表示)	図面番号	No. 232	( 枚の内)
大阪市都市整備局 住宅部 (建設設計担当)		株式会社 ニュージェック		

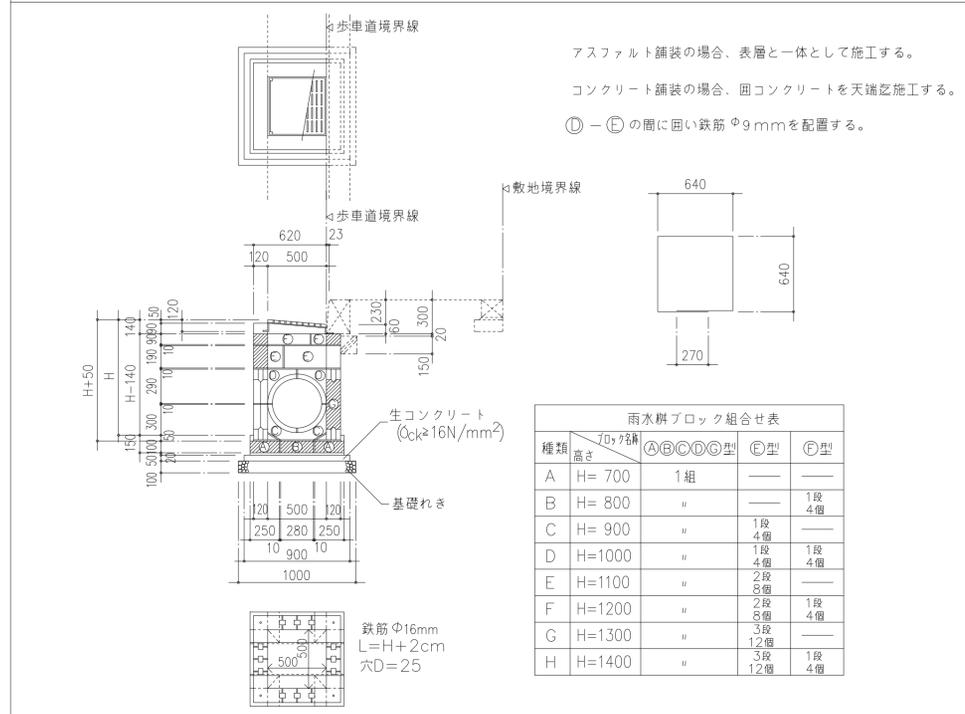






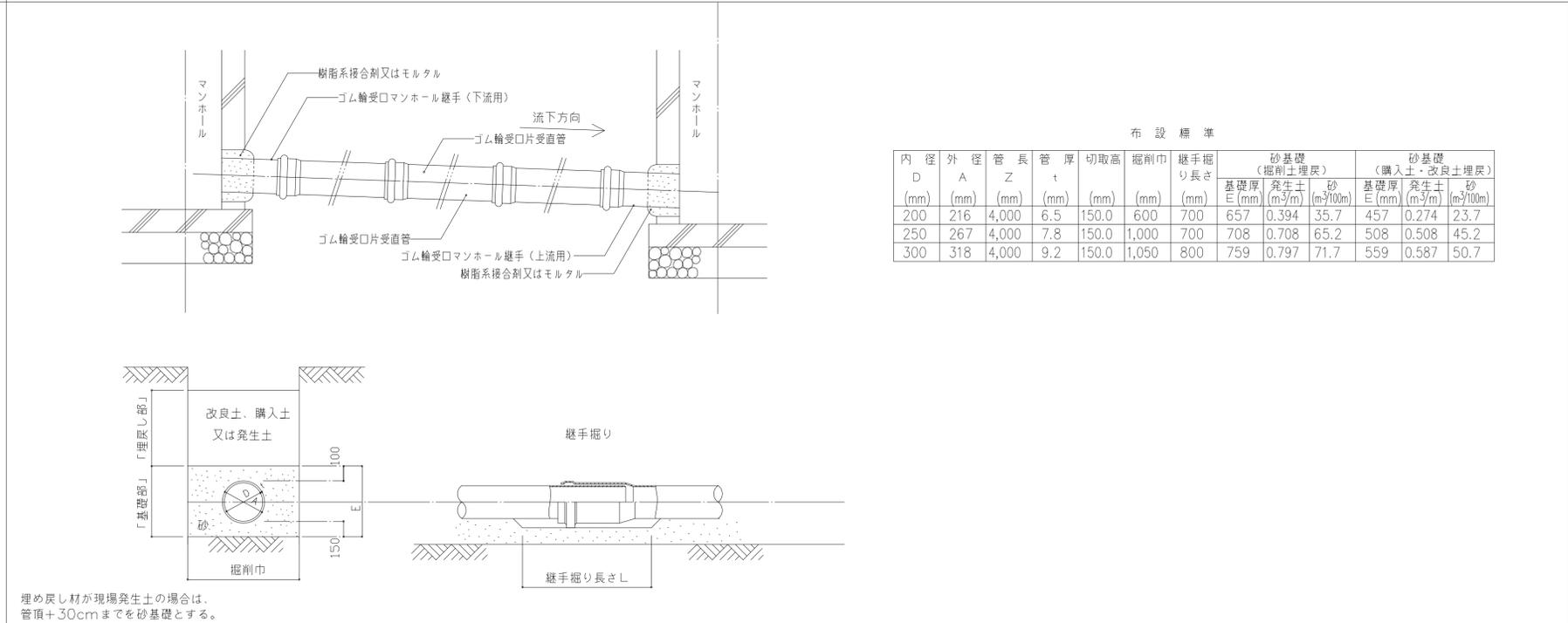
仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号
<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪市建設局の仕様による</li> <li>深さは標準を示すもので、現況により多少の深浅がある</li> </ul>	一般	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪市建設局の仕様による</li> <li>深さは標準を示すもので、現況により多少の深浅がある</li> <li>民地側に設置することを標準とするが、民地内に設置できない場合は本図によることができる。</li> </ul>	一般	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪市建設局の仕様による</li> <li>深さは標準を示すもので、現況により多少の深浅がある</li> <li>民地側に設置することを標準とするが、民地内に設置できない場合は本図によることができる。</li> </ul>	一般
	インバート付の場合		インバート付の場合		インバート付の場合

公道付雨水枱 S=1/30



仕仕様様	記号
<ul style="list-style-type: none"> <li>切込砕石は JIS 5001 使用とし、他の既製ブロックも JIS 規格品とする</li> <li>大阪市建設局の仕様による</li> <li>深さは標準を示すもので、現況により多少の深浅がある</li> </ul>	A

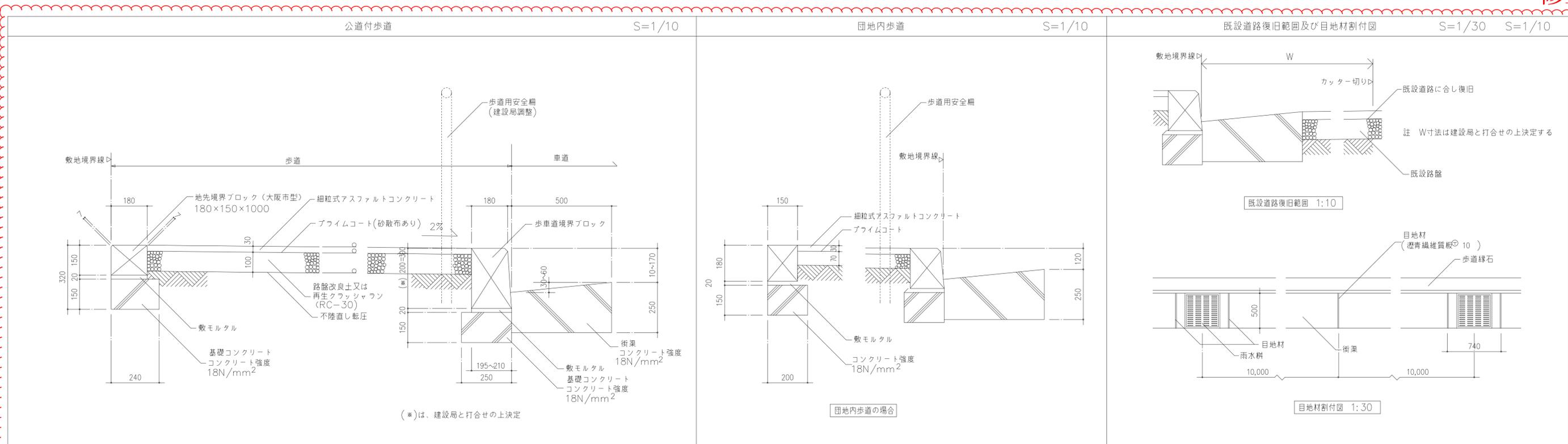
下水道用硬質塩化ビニル管布設標準図 S=1/20



仕様	記号
<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪市建設局の仕様による</li> </ul>	Ⓣ

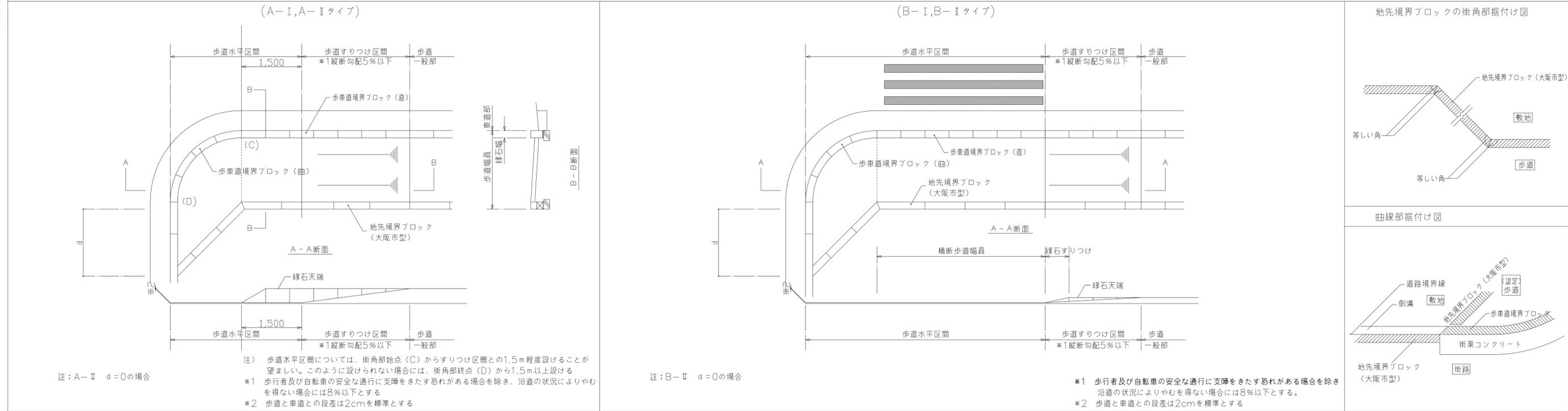
日付	内容	日付	内容	工事名称	大和田第3住宅1号館第2期建設工事			
H10.9.1	確認	H20.3.31	都市環境局を建設局に修正	図面名称	屋外一般附帯詳細図(4)	製図	平成24年3月	
H11.3.	第三種入孔、第四種入孔及び第四種特殊入孔取り止め。0号及び1号マンホール新設。			縮尺(原縮用紙サイズ)	1/20 1/30 (A1)	図面番号	No. 312 (枚ノ内)	
H11.9.1	公道付雨水枱の仕様を下水道局から建設局に変更			代表者				
H11.10.2	第三種及び第四種入孔取り止めの上、0号及び1号組立マンホール追加			担当者				
H15.11.1	下水道用硬質塩化ビニル管布設標準図追加			設計事務所				
	下水道局を都市環境局に修正			株式会社 ニュージェック				

1998.9.(株) 輪建築企画設計 確認 1999.3.(株) 輪建築企画設計 修正 1999.9.(株) 輪建築企画設計 修正 1999.10.(株) 輪建築企画設計 修正 2003.11.(株) 輪建築企画設計 修正 2008.3.(株) 真鋼建築設計事務所 修正 2009.3.(株) 小西設計 修正



仕様	記号
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大阪市建設局仕様による</li> <li>○ 石の目地間隔は、9M/Mを標準とする</li> <li>○ 道路境界石、歩道縁石の仕様は、歩道改築に準ずる</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ □ は、ローラー転圧をしめす</li> <li>○ カラー舗装の場合は、重量比7%の着色材をいれる</li> <li>○ 瀝青繊維質板は、ケンタイト(アオイ化学)、スフタイト(七王工業)、セロタイト(ニチレキ) SRテックス(静岡瀝青工業)、パーマタイト(下牧産業)、フジスーパータイト(藤本産業)とする</li> </ul>	

公道付歩道段差切下げ (A-I, A-IIタイプ)



仕様	記号
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大阪市建設局仕様による</li> <li>○ 施工にあたっては、横断歩道の新設、移設、廃止等の将来計画も含めて、建設局、所轄警察署と打合せのこと</li> <li>○ 道路境界石、歩道縁石の仕様は、歩道改築に準ずる</li> <li>○ 団地内歩道の場合も当仕様とする</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>注) 歩道水平区間については、街角部始点(C)からすりつけ区間との1.5m程度設けることが望ましい。このように設けられない場合には、街角部終点(D)から1.5m以上設ける</li> <li>*1 歩行者及び自転車の安全な通行に支障をきたす恐れがある場合を除き、沿道の状況によりやむを得ない場合には8%以下とする</li> <li>*2 歩道と車道との段差は2cmを標準とする</li> </ul>	

日付	内容	日付	内容
H10.9.1	確認		
H11.3.1	団地内歩道アスファルト舗装仕様寸法記入		
H11.9.1	公道付歩道及び、公道付歩道段差切下げ一部修正		
H17.4.1	公道付歩道段差切下げ修正		

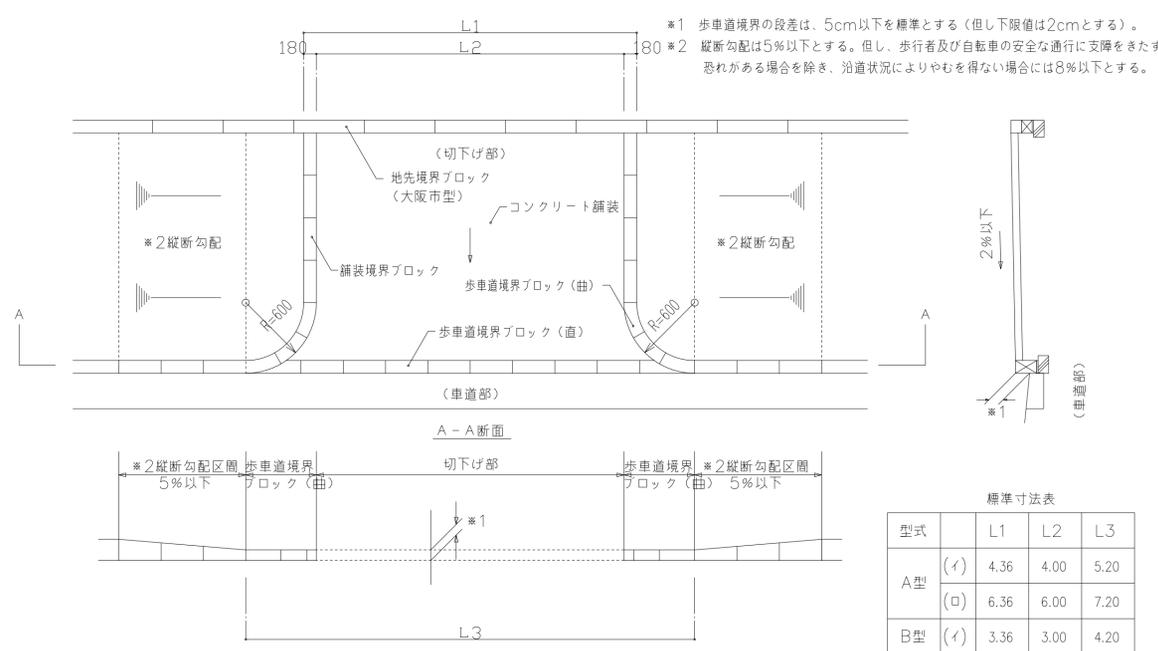
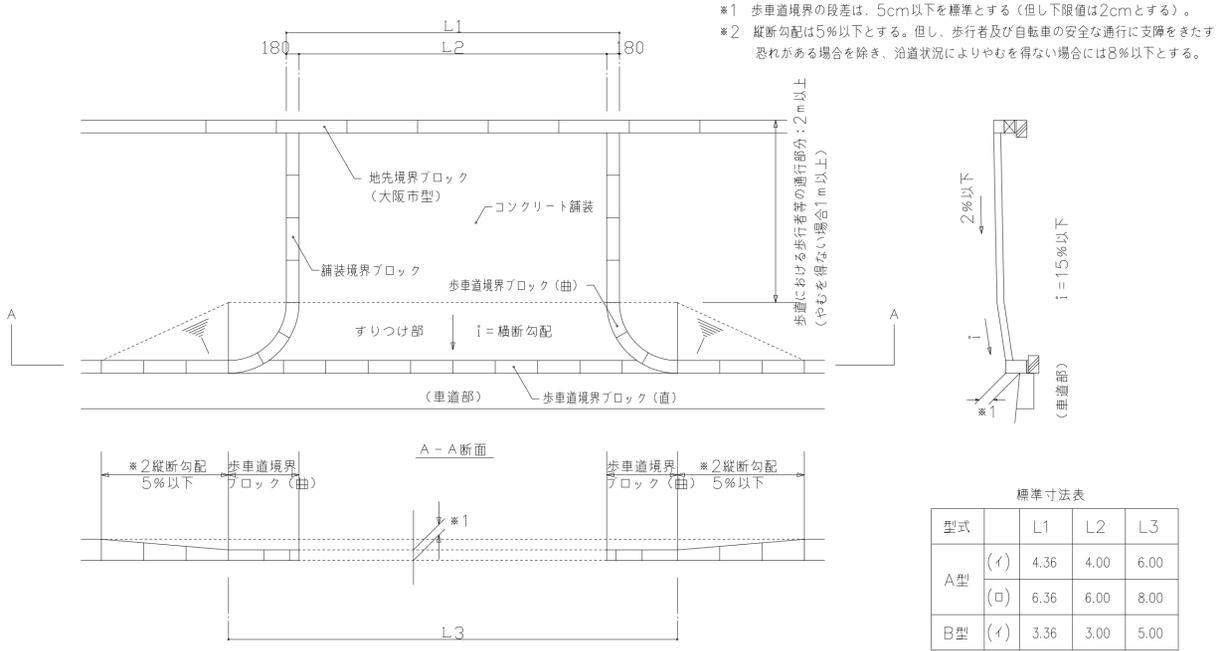
  

工事名称	大和田第3住宅1号館第2期建設工事		
図面名称	屋外一般附帯詳細図(9)	製図	平成24年 3月
縮尺(原縮用紙サイズ)	1/10 1/30 (A1)	図面番号	No. 317 (枚ノ内)
大阪市都市整備局住宅部(建設設計グループ)			
設計事務所	株式会社 ニュージェック	代表者	担当

公道付歩道改築

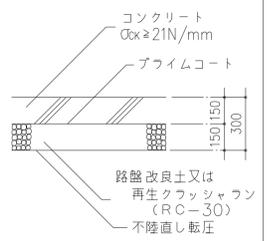
I 型 (歩道巾員2.5Mを超える場合)

II 型 (歩道巾員2.5M以下の場合)



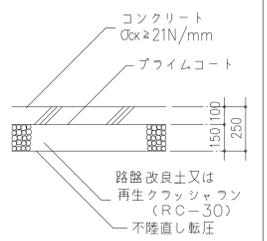
歩道改築部分 A型

積載量4トン以上の車輛が入出する場合



歩道改築部分 B型

積載量4トン未満の車輛が入出する場合



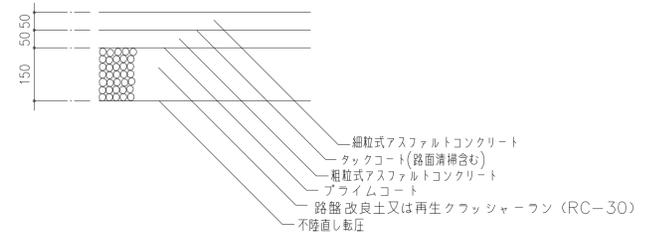
- 大阪市建設局仕様による
- 下記の取合については、事前に建設局、所轄警察署と打合せのこと
- ・ 標準寸法表の、A型及びB型以外を採用する場合

仕 様

記 号



S=1/50 S=1/20



消防車乗入れ部公道付アスファルト舗装

仕 様	記 号	記 号

日 付	日 付	工事名称	大和田第3住宅1号館第2期建設工事			
H10.9.1		確認	図面名称	屋外一般附帯詳細図(10)	製図	平成24年 3月
H11.9.1		公道付歩道改築、部材名称等一部修正	縮尺(原縮用紙サイズ)	1/20 1/50 (A1) 図面番号	No. 318 (枚ノ内)	
H13.9.3		公道付歩道改築(Ⅱ型)	課長	課長代理	係長	担当
H17.4.1		公道付歩道改築修正の歩道勾配変更	大阪市都市整備局住宅部(建設設計グループ)			
		消防車乗入れ部 公道付歩道段差切下げ 取止め	設計事務所	株式会社 ニューゼック	代表者	担当

1998.9.(株) 檢建築企画設計 確認 1999.9.(株) 檢建築企画設計 修正 2001.9.(株) 檢建築企画設計 修正 2005.4.(株) 檢建築企画設計 修正 2008.3.(株) 眞鍋建築設計事務所 確認

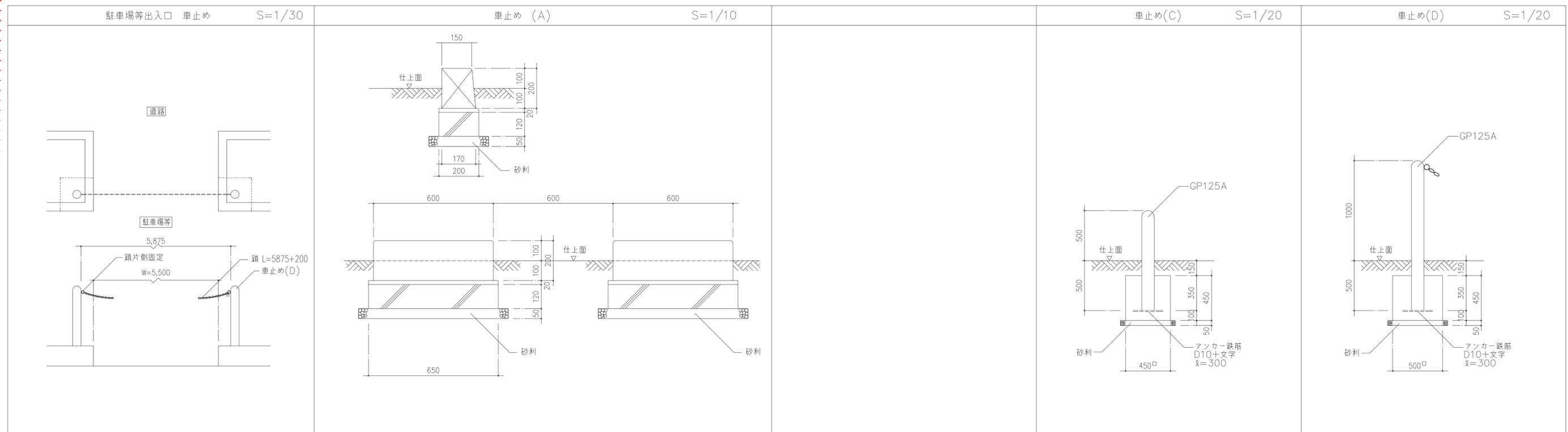
鉄筋コンクリート擁壁 特記仕様

材 料	・コンクリート 普通コンクリート $F_c=21\text{N/mm}^2$ スラブ15cm	・水抜き穴はVP75φとし、壁面の面積 $3\text{m}^2$ 当り1ヶ所以上設ける。また、擁壁前面埋戻し面より100mm上りの位置とする。	・地表面は水平とし、地表面荷重は無し(A,Bタイプ)と $5\text{KN/m}^2$ (C,Dタイプ)の場合を示す。	・特記のない場合は、Aタイプで表面荷重は無しとする。
	・鉄筋 D16以下 SD295A(JIS規格品)、D19以上 SD345(JIS規格品)	・水抜き穴の背面の透水層は、単粒度4号砕石により厚さ300mm程度で、擁壁上部地表面より300mmの位置より前面埋戻し面まで設ける。	・基礎底の標準貫入試験によるN値が10未満の場合(A,Cタイプ)と10以上の場合(B,Dタイプ)の2タイプについて検討する。	・塗装仕上をする場合は、仕上を記入のこと。
	・地盤 捨てコンクリート 厚50mm、砂利地盤100mm	・伸縮目地はエラストイトφ15とし、擁壁タイプの変わる面所かつ10m毎を標準とする。	ここでNは基礎底から3m程度のN値の平均値とする。	・天漏納まり仕様は、ウォールに準じる。
			・段差(土圧を受ける高さ)が1.0mを超える場合は、別途検討する事。	・特記なき限り見掛り部については、打放し仕上とする。
				コンクリート打放しは、コンクリート型枠用合板(厚さ12mm以上)を使用し、型枠締付の方法はボルト式とする。

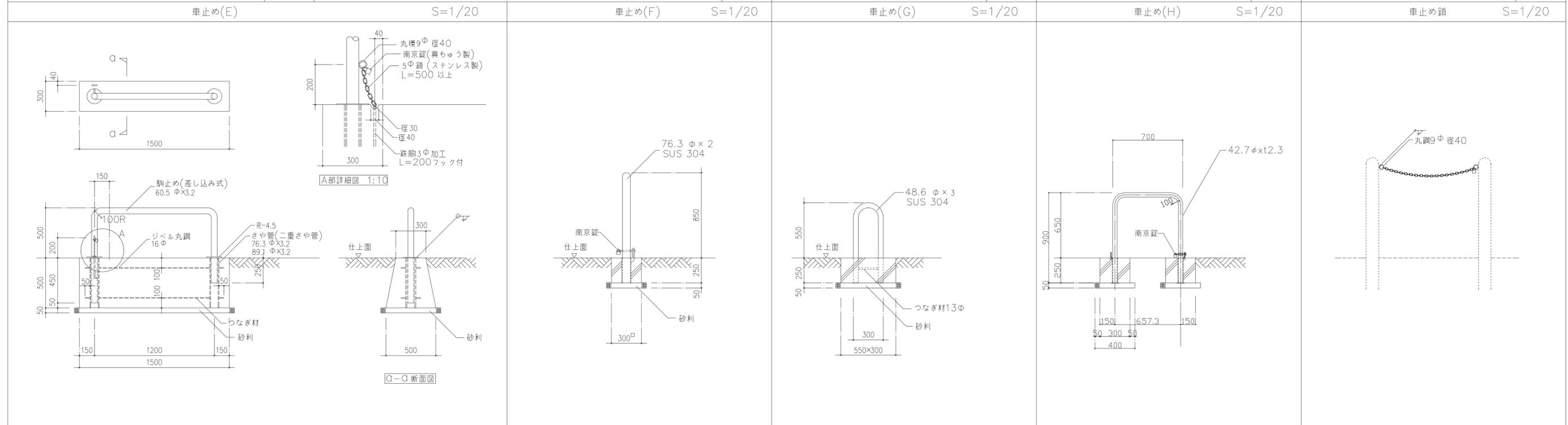
		Aタイプ ( $\bar{N} < 10$ )				Bタイプ ( $\bar{N} \geq 10$ )			
		記号 ヨウヘキA H=				記号 ヨウヘキB H=			
地表面荷重 無し	正圧擁壁								
	逆圧擁壁								

		Cタイプ ( $\bar{N} < 10$ )				Dタイプ ( $\bar{N} \geq 10$ )			
		記号 ヨウヘキC H=				記号 ヨウヘキD H=			
地表面荷重 5 KN/m <sup>2</sup>	正圧擁壁								
	逆圧擁壁								

調整済	工事名称	大和田第3住宅1号館第2期建設工事		
構造	図面名称	屋外一般附帯詳細図(12)		
代表者	製図	平成24年 3月	縮尺(原縮用紙サイズ)	1/30(A1)
担当者	図面番号	No. 320	課長	課長代理
	設計事務所	株式会社 ニューゼック		



仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号
<ul style="list-style-type: none"> <li>5φ 鎖 ステンレス製、チェーン片側南京錠(シリンダー)にて丸環に取付</li> <li>南京錠は真ちゅう製(監督員の指定品とする。)</li> </ul>	▷	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート強度 <math>F_c=18N/mm^2</math></li> <li>車止めブロックは、JIS A 5307の片面歩車道境界ブロックとする</li> </ul>	◻ A	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート強度 <math>F_c=18N/mm^2</math></li> <li>鉄部は垂鉛めっきの上塗装1とする</li> </ul>	⊗ C	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート強度 <math>F_c=18N/mm^2</math></li> <li>鉄部は垂鉛めっきの上塗装1とする</li> </ul>	⊗ D

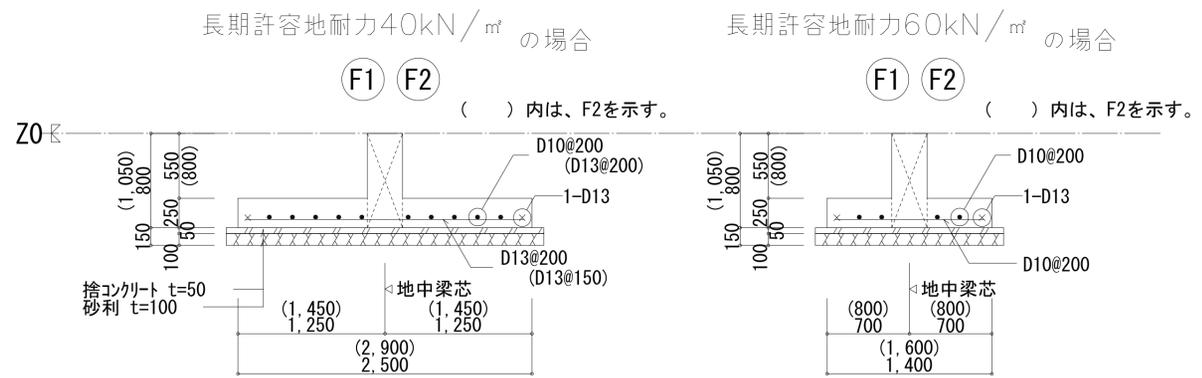


仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号
<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート強度 <math>F_c=18N/mm^2</math></li> <li>鉄部は、垂鉛めっきの上 塗装1</li> <li>南京錠は真ちゅう製(監督員の指定品とする。)</li> </ul>	⊗ E	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート強度 <math>F_c=18N/mm^2</math></li> <li>帝金K,Kの 53-PK (カギ付)または同等品とする</li> <li>南京錠は真ちゅう製(監督員の指定品とする。)</li> </ul>	⊗ F	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート強度 <math>F_c=18N/mm^2</math></li> <li>帝金K,Kの 81-A2または同等品とする</li> </ul>	⊗ G	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート強度 <math>F_c=18N/mm^2</math></li> <li>帝金K,Kの 80-PK (カギ付)または同等品とする</li> <li>南京錠は真ちゅう製(監督員の指定品とする。)</li> </ul>	⊗ H

日付	内容	日付	内容
H10.9.1	確認		
H11.9.1	FをFcに修正		
H13.9.3	車止め(F)(G)の型番修正		
H15.11.1	メーカー指定を同等品扱いに修正		
H17.4.1	車止め(H)を追加 車止め(B)を削除		

1998.9.(株)輸建築企画設計 確認 1999.9.(株)輸建築企画設計 修正 2001.9.(株)輸建築企画設計 修正 2003.11.(株)輸建築企画設計 修正 2005.4.(株)輸建築企画設計 修正 2008.3.(株)真鋼建築設計事務所 確認 2009.3.(株)小西設計 修正

基礎リスト 1:30



地中梁リスト 1:30

幅止め筋は、D10@1,000とする。

符号	F G 1			F G 2		F G 3	F B 1	F B 2
	X1・X4端	中央	X2・X3端	両端	中央	全断面	全断面	全断面
位置								
断面								
B x D	300 x 800			300 x 800		300 x 550	300 x 550	250 x 850
上端筋	3 - D 19	4 - D 19	3 - D 19	3 - D 19	3 - D 19	3 - D 19	3 - D 19	2 - D 16
下端筋	3 - D 19	3 - D 19	5 - D 19	5 - D 19	3 - D 19	3 - D 19	3 - D 19	2 - D 16
S T P	□ -D10 @200			□ -D10 @200		□ -D10 @200	□ -D10 @200	□ -D10 @200
腹筋	2 -D 10			2 -D 10				4 -D 10

柱リスト 1:30

符号	C 1
断面	
B x D	450 x 450
主筋	8 - D 19
H O O P	□ - D 10 @ 100

大梁リスト 1:30

幅止め筋は、D10@1,000とする。

符号	G 1	G 2	G 3	G 4		G 5	G 6	
	全断面	全断面	全断面	両端	中央	全断面	両端	中央
位置								
断面								
B x D	300 x 850	300 x 850	350 x 600	350 x 600		300 x 700	450 x 450	
上端筋	3 - D 19	3 - D 19	3 - D 19	4 - D 19	4 - D 19			
下端筋	3 - D 19	4 - D 19	3 - D 19	4 - D 19	6 - D 19			
S T P	□ -D10 @200	□ -D13 @200	□ -D10 @200	□ -D10 @200		□ -D10 @200	□ -D10 @150	
腹筋	2 -D 10	2 -D 10	2 -D 10	2 -D 10		2 -D 10		

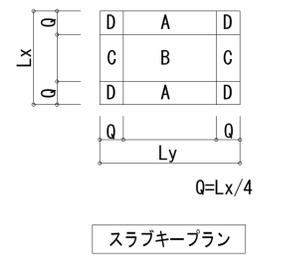
壁リスト 1:30

「将来開口目地」は、改築における壁撤去可能位置を示す。

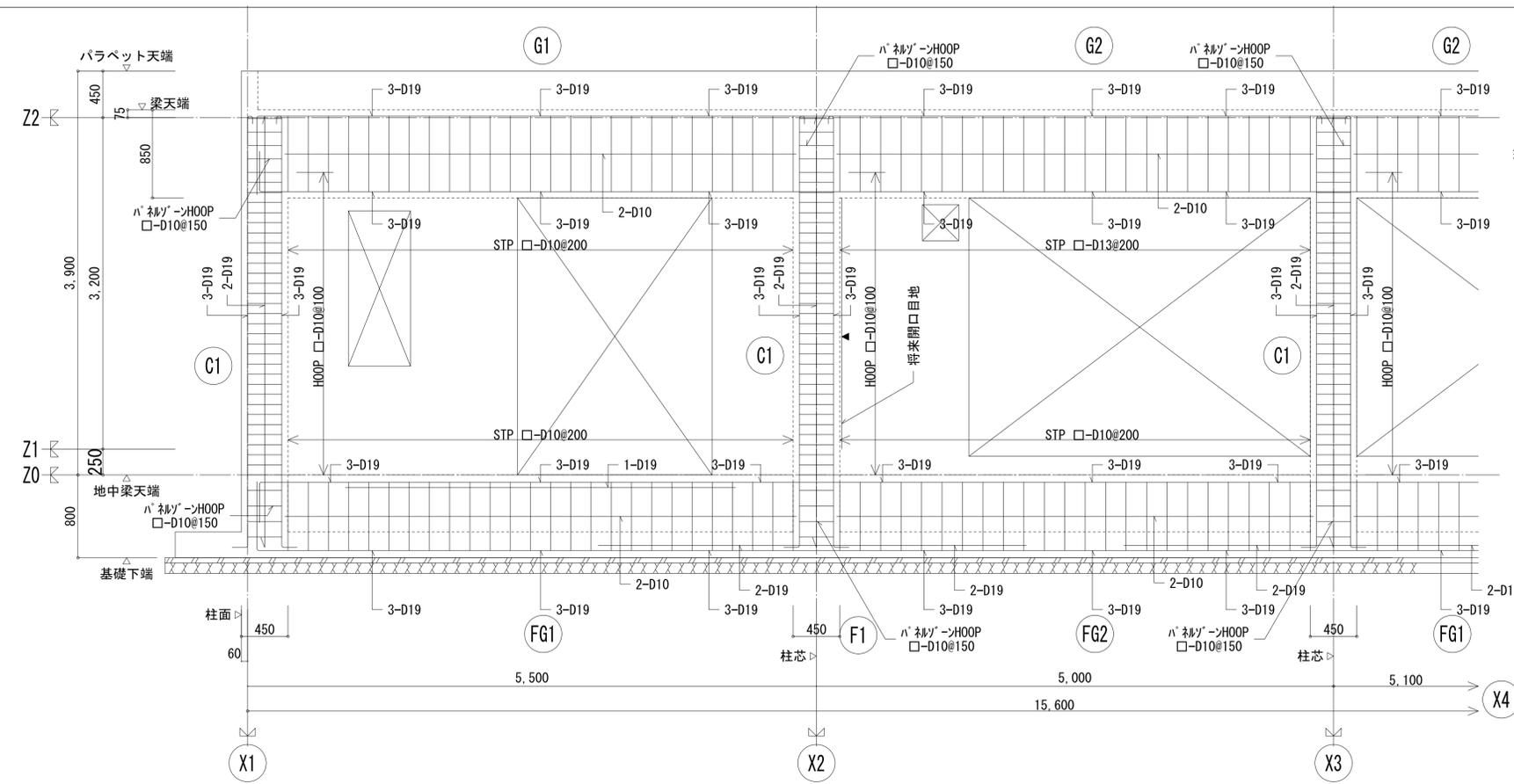
符号	EW12	W12	開口部補強筋	将来開口目地
断面				
縦筋	D10-D13 @200 (シングル)	D10 @200 (シングル)		
横筋	D10-D13 @200 (シングル)	D10 @200 (シングル)		
開口補強筋	縦筋	2-D13		1-D13
	横筋	2-D13		1-D13
	斜筋	1-D13		1-D13

スラブリスト

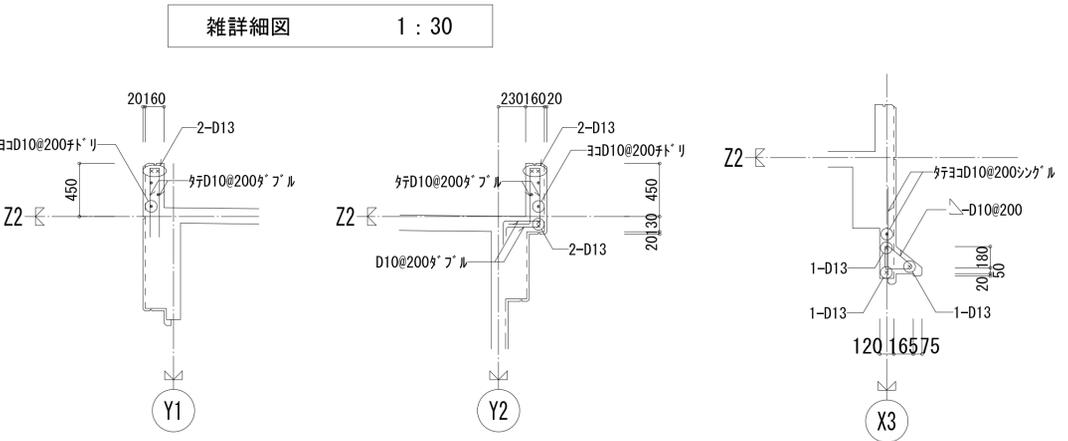
符号	厚さ	位置	短辺方向配筋			長辺方向配筋		備考
			A	B	C, D	C	B, A, D	
S1	150	上	D10-D13 @200	←		D10-D13 @200	←	屋根
		下	D10 @200	←		D10 @200	←	
S2	150	上	D13 @200	←		D10-D13 @200	←	1階便所
		下	D13 @200	←		D10-D13 @200	←	
CS1	150	上	D13 @150	←		D10 @250	←	テラス庇
		下	D10 @150	←		D10 @250	←	
CS2	130	上	D13 @200	←		D10 @250	←	玄関庇
		下	D10 @200	←		D10 @250	←	



名称	大和田第3住宅1号館第2期建設工事			図面番号	A.1
図面名称	集会所 断面リスト	数図	平成24年 3月	縮尺	1/30
図面番号	No. 412	図面番号	No. 412 ( 枚の内)		
設計者	大坂市都市整備局		設計者	株式会社 ニュージェック	
監理者	住宅部 (建設設計グループ)		監理者	株式会社 ニュージェック	

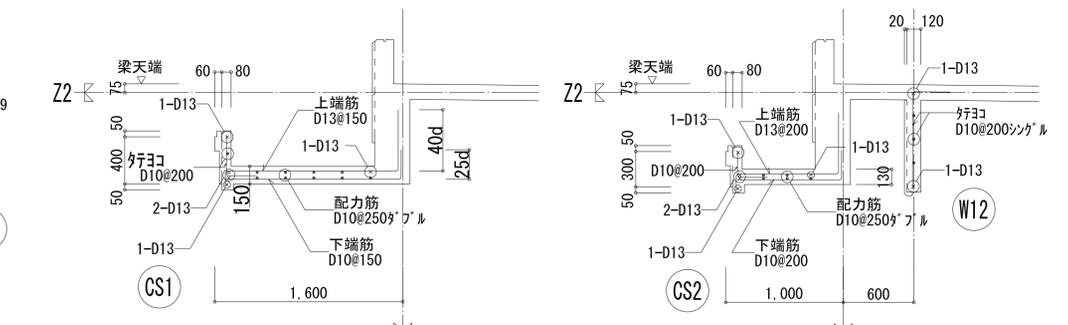


Y1通 架構配筋詳細図 1:30



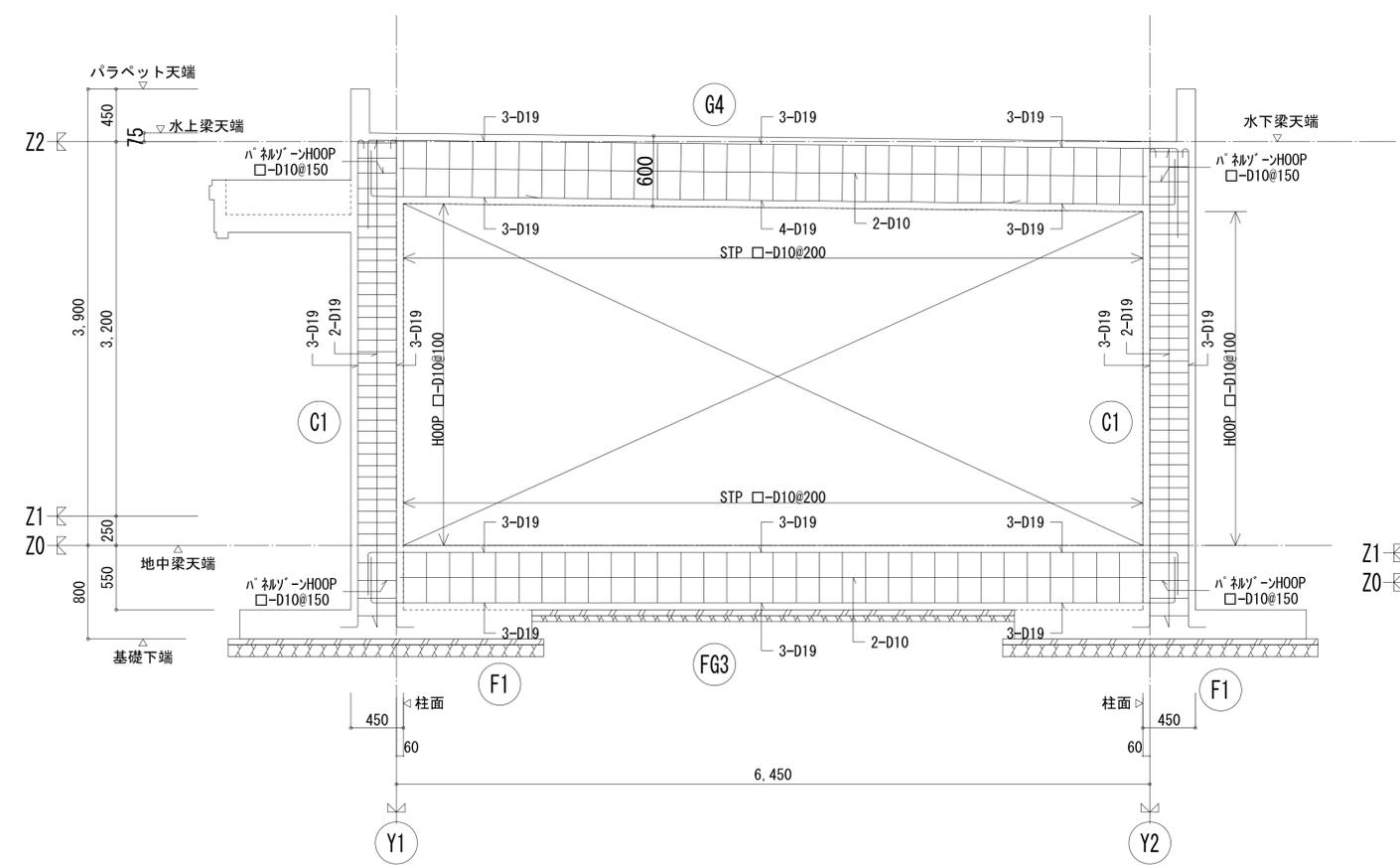
パラペット

窓庇

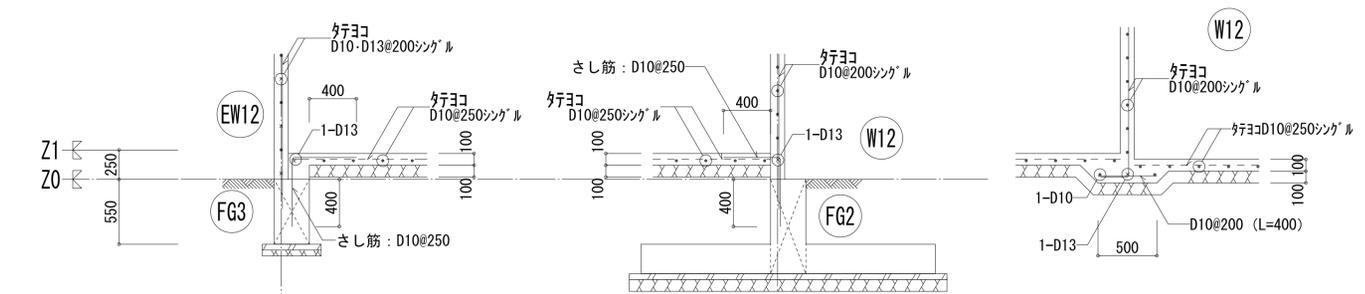


テラス庇

玄関庇

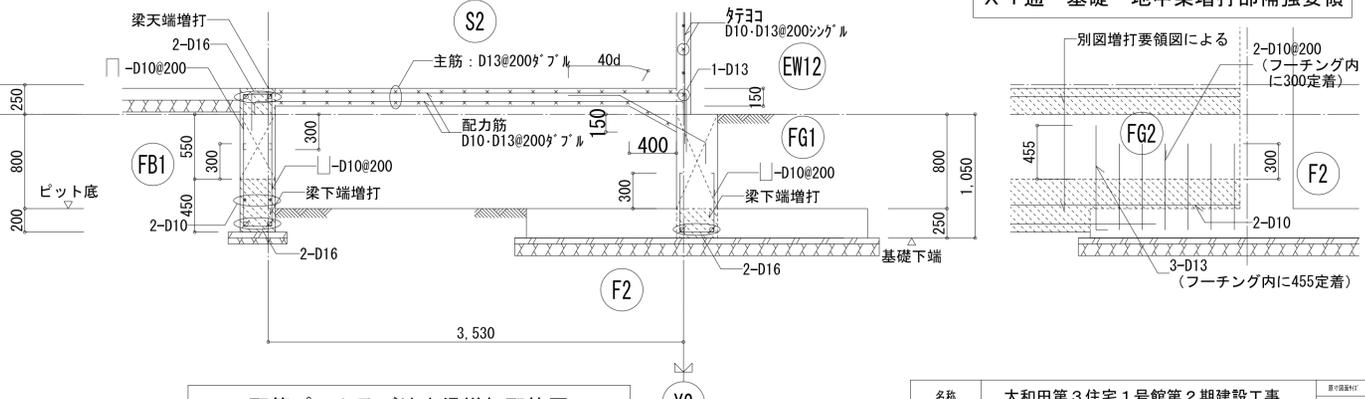


X2通 架構配筋詳細図 1:30



土間コンクリート~壁 補強

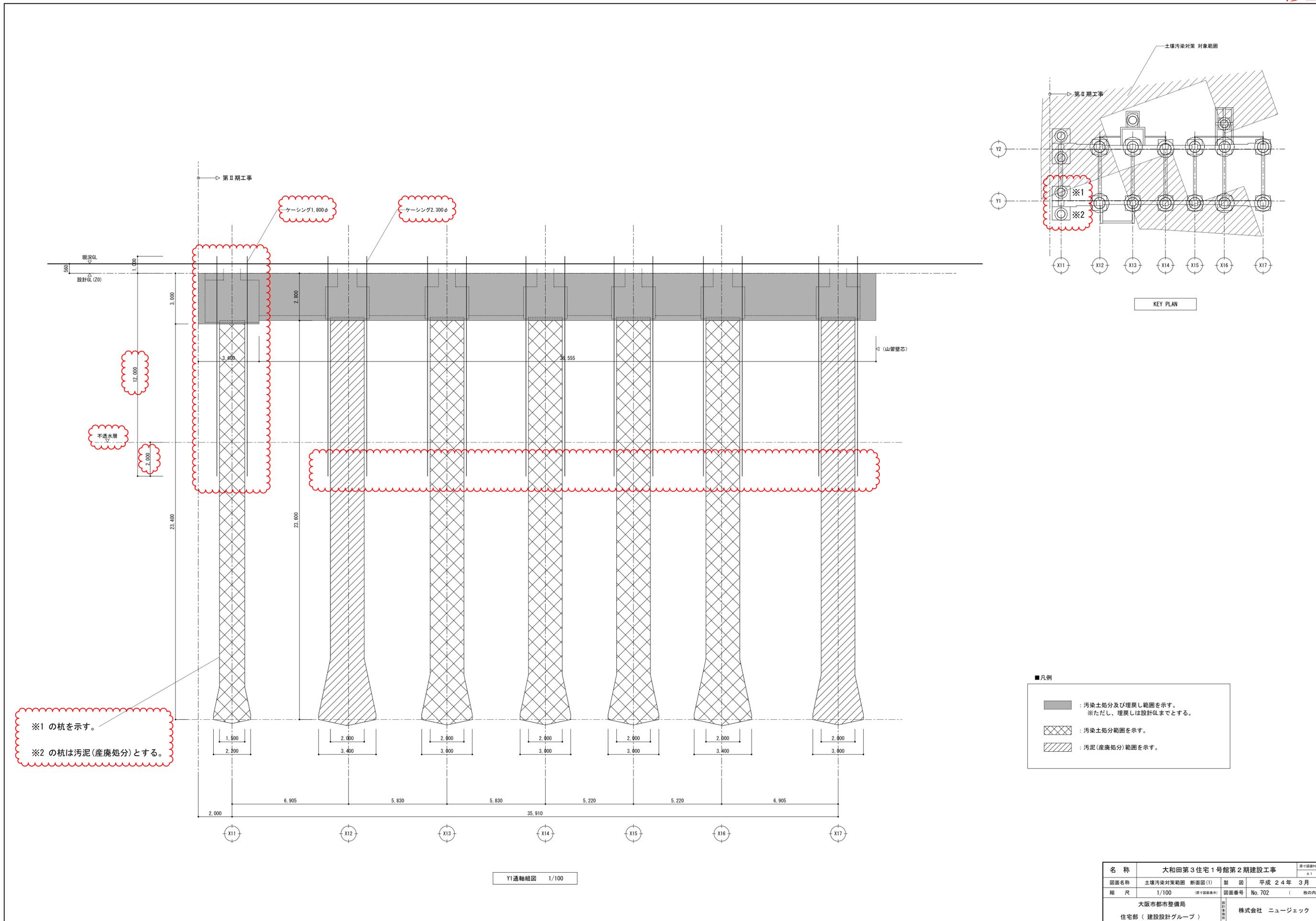
土間コンクリート~地中梁 取り合い部



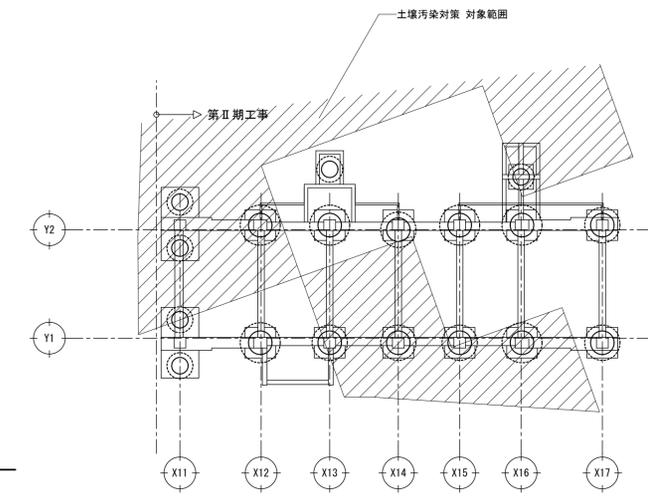
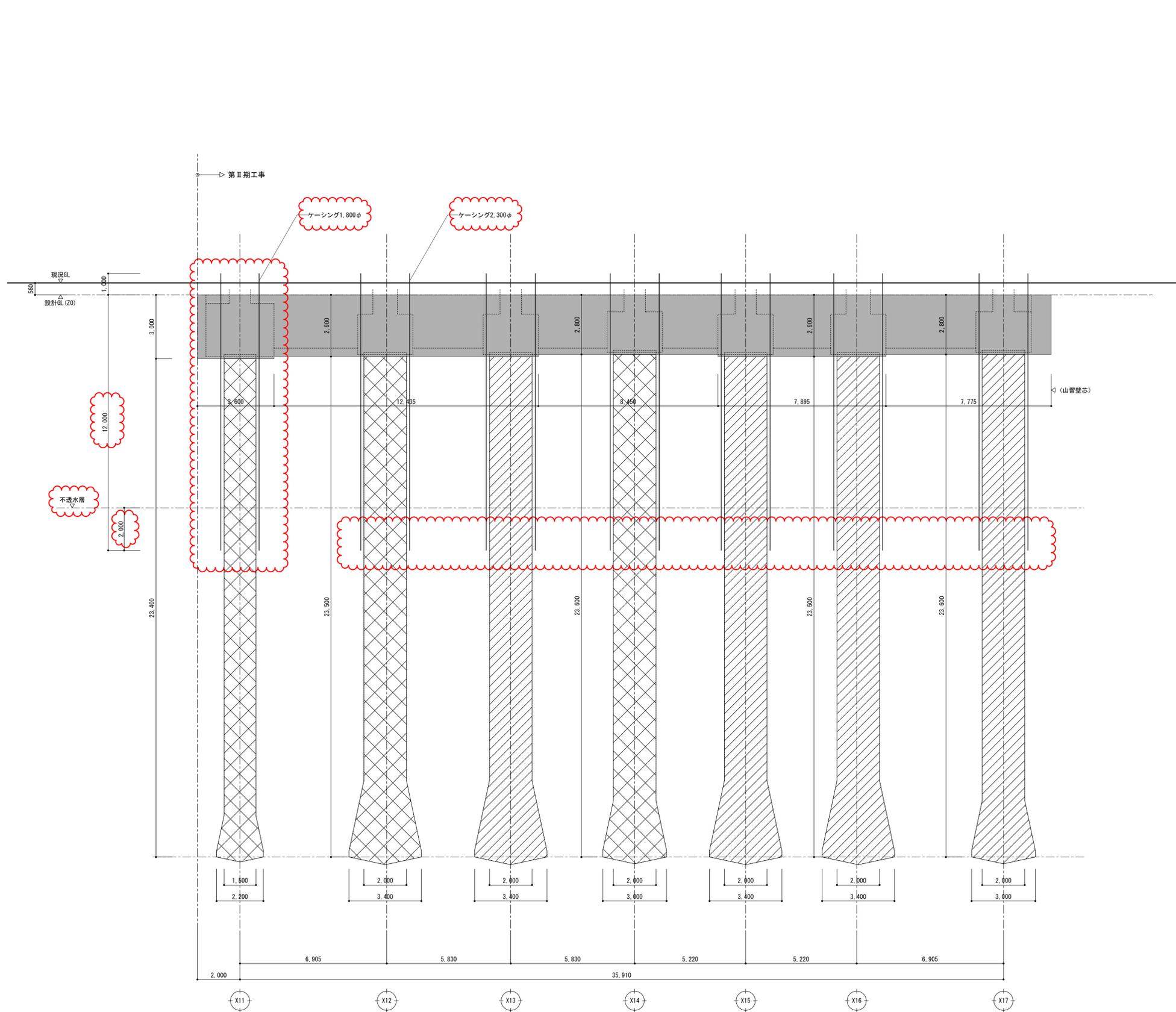
X1通 基礎~地中梁増打部補強要領

配管ピット及び地中梁増打配筋図

名称	大和田第3住宅1号館第2期建設工事		
図面名称	集会所 架構配筋詳細図・雑詳細図	製図	平成24年 3月
縮尺	1/30	図面番号	No. 413 ( 枚の内)
大阪市都市整備局 住宅部 (建設設計グループ)		設計 監理	株式会社 ニュージェック



名称	大和田第3住宅1号館第2期建設工事			図面番号	1/100
図面名称	土壌汚染対策範囲 断面図(1)	製図	平成 24年 3月	図面番号	No.702 ( 枚の内)
縮尺	1/100 (原寸図面表示)	図面番号	No.702	( 枚の内)	
大阪市都市整備局 住宅部 (建設設計グループ)			株式会社 ニュージェック		

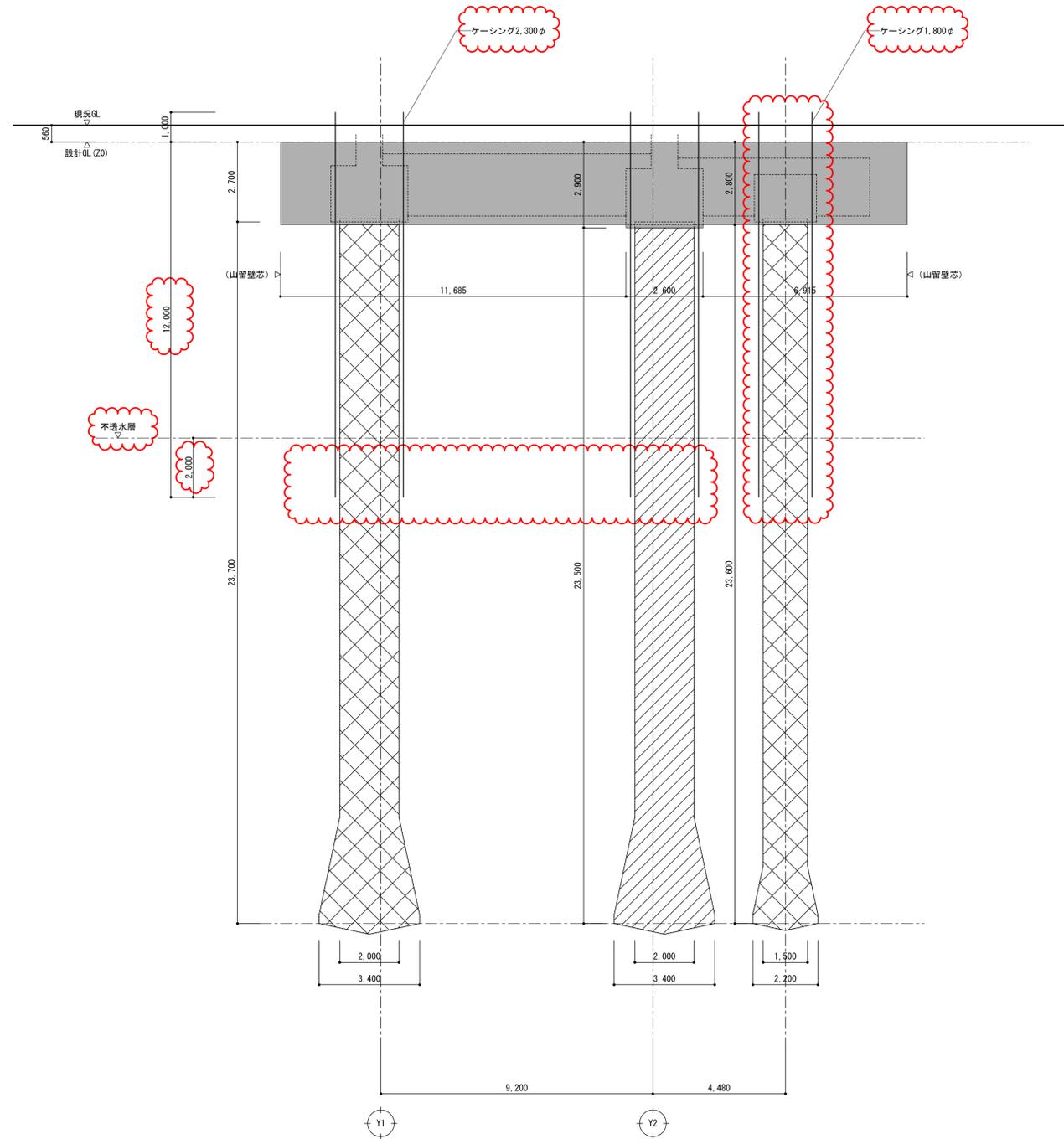


KEY PLAN

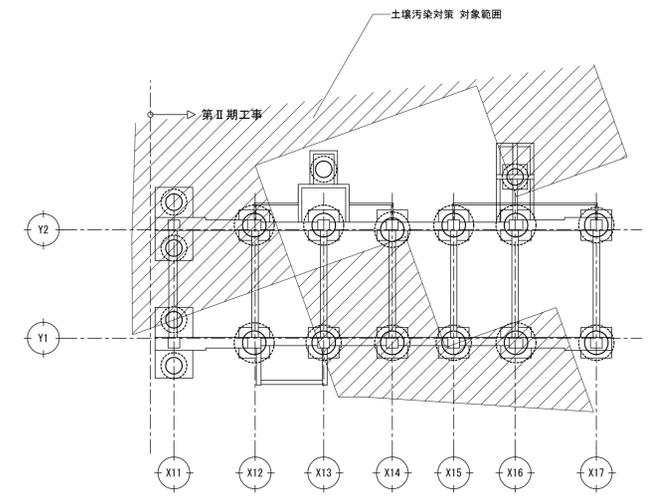
- 凡例
- : 汚染土処分及び埋戻し範囲を示す。  
※ただし、埋戻しは設計図までとする。
  - : 汚染土処分範囲を示す。
  - : 汚泥(産廃処分)範囲を示す。

Y2通軸組図 1/100

名称	大和田第3住宅1号館第2期建設工事			図面番付	表1
図面名称	土壌汚染対策範囲 断面図(2)	製図	平成24年3月		
縮尺	1/100 (原寸図面表示)	図面番号	No.703	( 枚の内)	
大阪市都市整備局 住宅部 (建設設計グループ)			株式会社 ニュージェック		



X16透軸組図 1/100



KEY PLAN

■凡例

- : 汚染土処分及び埋戻し範囲を示す。  
※ただし、埋戻しは設計図までとする。
- : 汚染土処分範囲を示す。
- : 汚泥(産廃処分)範囲を示す。

名称	大和田第3住宅1号館第2期建設工事			図面番付	表1
図面名称	土壤汚染対策範囲 断面図(3)	製図	平成24年3月		
縮尺	1/100 (原寸図面表示)	図面番号	No.704	( 枚の内)	
大阪市都市整備局 住宅部 (建設設計グループ)			設計 事務所	株式会社 ニュージェック	